

「腫瘍遺伝学セミナー」を開催

2014年9月29日

9月29日（月）にがん進展制御研究所棟4階会議室において、シンガポール大学がん科学研究所 Senior Research Scientist Dominic C. Voon 先生を迎え、「A role for RUNX3 in inflammation-induced expression of IL23A in gastric epithelial cells」と題して腫瘍遺伝学セミナーを開催しました。

セミナーでは、シンガポール大学がん科学研究所における、研究の取組みについて紹介して頂いた後、胃がんのがん抑制遺伝子RUNX3による、新しい発がん制御機構について最新の研究成果を発表して頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら三十数名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。



腫瘍遺伝学セミナー

A role for RUNX3 in inflammation-induced expression of IL23A in gastric epithelial cells

講演者：

シンガポール大学がん科学研究所

Senior Research Scientist

Dominic C.Voon 先生

日時：平成26年9月29日(月) 16:30～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

Dominic Voon博士は、シンガポール大学がん科学研究所、伊藤嘉明教授の研究室に所属する新進気鋭の若手研究者として、RUNX3研究に携わっています。とくにRUNX3が腫瘍免疫を制御してがん抑制作用を示す可能性について、研究を進めており（Cell Reports, 2014）、日本癌学会のInternational Sessionで招待演者として発表されます。

セミナーでは、RUNX3研究の最前線と、シンガポール大学がん科学研究所の様子についても紹介して頂く予定です。

皆様、奮ってご参加ください。

連絡先：大島（がん進展制御研究所・腫瘍遺伝学研究分野 内線6760）